

今日のキーワード FOMCの「ドット・チャート」(米国)

米連邦準備制度理事会 (FRB) は毎年3、6、9、12月に、米連邦公開市場委員会 (FOMC) メンバーによる米国経済と政策金利の見通しを公表しています。政策金利の見通しは「ドット・チャート」と呼ばれており、メンバーが適切と考えるフェデラルファンド (FF) 金利誘導目標の水準を“点 (ドット)”の分布で示しています。現在、2016年末、2017年末、2018年末、長期の4期間の見通しが確認できます。

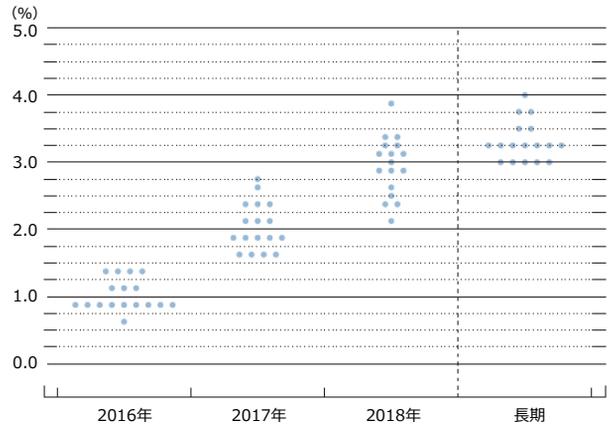
ポイント1 「ドット・チャート」は政策を伝える主要な方法にあらず ただ市場はそれを参考に金融政策を予想する

■ FRBは「ドット・チャート」について、政策を対外的に伝える主要な方法ではないとしており、政策意図を示す基本手段はFOMC声明であるとの認識を示しています。それでもこのような見通しが公表される以上、市場はそれを参考に金融政策を予想します。具体的にはドット分布の中央値から年何回の利上げが行われるかを推測することになります。

ポイント2 3月はドットが低下 年内利上げ示唆は2回に減少

- 2015年12月16日公表の「ドット・チャート」では、2016年末のドット分布の中央値は1.375%でした。2015年末のFF金利水準は0.375%でしたので、その差は1.00%です。これを受けて市場は、FOMCが2016年に0.25%の4回の利上げを考えていると解釈しました。
- 3月16日公表の「ドット・チャート」は、2016年末の中央値が0.875%へ低下し、2015年末との差は0.50%に縮小しました。市場はFOMCが2016年の利上げを2回に減らすと解釈し、米長期金利低下、米ドル安、米株高で反応しました。

メンバーの政策金利見通し (「ドット・チャート」)



(注)2016年3月16日時点でFOMCメンバーが適切と考える各年末および長期のFF金利誘導目標水準。

(出所)FRBの資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 利上げに関するメンバーの見通しと市場の織り込みの行方

■ 市場が織り込む利上げペースはより緩やか

足元のFF金利先物市場は、2016年の利上げはあっても1回程度と見込んでいます。つまり市場が織り込む利上げのペースは、FOMCメンバーの見通しに比べ、より緩やかなものということになります。

■ 米国物価と金融市場の動向に注目

今後の注目点は米国物価と金融市場の動向です。物価上昇・市場安定なら、市場が織り込む利上げペースは上方修正され、物価低迷・市場不安定なら、メンバーの見通しが下方修正されると思われます。

ここもチェック! 2016年 3月 17日 米国の金融政策 (2016年3月) FOMC声明はハト派的な内容
2016年 3月 9日 米国の債券市場 (2016年3月) 国債利回りは小幅に低下

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。